

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 03-007

PDCA	事務事業名	広報推進事務	部課等名	企画部 企画課 広報情報担当	担当	浅野	
					内線等	230	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第1章 協働によりともに高め合うまち					
		節：第1節 協働のまちづくりの推進					
		基本施策：1. 市民協働の推進					
		単位施策：(2) 情報共有の推進					
		個別施策：①広報活動及び情報提供の推進					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	市政に対する理解を市民に深めてもらうため、行政情報を市民に周知する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	新聞への半田市紹介広告(新聞広告)や情報誌、ホームページを活用し、市民に情報を提供するとともに、記者会見や報道機関への情報提供により、報道記事として取り上げってもらう広報活動を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①報道機関への情報提供数		3,072	2,820	2,448	回
		②映像製作数		6	6	3	本
		③はんだ市報発行事務		38,600	38,600	38,600	部
		事業費		21,906	21,962	20,286	千円
		人件費		11,005	8,564	9,095	千円
		総事業費		32,911	30,526	29,381	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
		①報道機関への情報提供1回あたりのコスト		49	54	63	円
	②映像1本あたりの製作コスト		713	662	686	千円	
	③市報1部あたりの作成発行コスト		34	31	32	円	
	成果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①提供した情報の新聞掲載数	実績値	336	365	309	件
			目標値	300	300	365	
		②ホームページのアクセス数(月間)	実績値	55,948	66,661	70,081	件
			目標値	40,000	40,000	50,000	
		③製作映像の視聴人数(1本平均)	実績値	—	—	3,781	人
			目標値	—	—	1,200	
④はんだ市報の満足度(広報に関するアンケート中の「非常に満足」または「おおむね満足」の割合)		実績値	88	94	93	%	
		目標値	90	90	90		
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	C					
		平成29年度は市制80周年・第八回はんだ山車まつりが行われたことにより新聞掲載数が多かったため、平成30年度は新聞掲載数が減少した。ホームページのアクセス数は、市報などからのホームページへの誘導を促進したことなどにより目標値を達成したが、スマートフォンでの情報検索に課題がある。製作した映像は、市役所1階ロビー及び半田病院外来待合にて映像を放映することにより、多くの人に視聴していただいた。市報の満足度については、表紙を始め、分かりやすい紙面作成に努めた結果、満足度は目標値を超えた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 報道機関への情報提供については、広報担当が常にアンテナを高くして、各課の事業が適切に情報提供されるよう指導していく。ホームページについては、令和元年度のリニューアルにより、スマートフォンでの使いやすさ向上を目指す。市報については、カラーページの採用や、取材による特集記事の掲載などにより、市民にさらに見やすく親しみやすい紙面を目指す。また、各種広報媒体をどのように活用し、広報活動を行うのか検討していく。				
		令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位	
			①提供した情報の新聞掲載数	365		件	
			②ホームページのアクセス数(月間)	50,000		件	
	③はんだ市報の満足度(広報に関するアンケート中の「非常に満足」または「おおむね満足」の割合)	90		%			